

## 解散式 組合長挨拶

本日ここに、4町村の消防が新しい時代を迎える「けじめ」として解散式を行うことといたしました。この節目に、組合を構成する町村長を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様、各消防団長、代表監査委員、公平委員長には、大変お忙しいなかご臨席を賜り誠にありがとうございます。

さて「十勝圏の消防広域化」まで、余すところひと月を切り、南十勝消防事務組合は45年間の歴史に幕を下ろします。本組合は、来る3月31日限りで発展的に解散いたしますが、これまで消防行政発展のためにご尽力を賜りました関係機関並びに各位に衷心より感謝を申し上げます。

節目でありますので、本組合の「歩み」を少しばかりお話したいと思います。

本組合の設立は、昭和46年2月25日であります。消防本部の業務開始は同年4月1日からであり、2署・1出張所・2分遣所の体制で常備消防車2台、職員21人をもって発足しました。平成18年2月町村合併により忠類村が脱退しましたが、45年の時を経て2署・2支署、高規格車両、職員83人を有する消防本部に発展してまいりました。

「自らの地域は自ら守る」という誇り高い理念のもとに組織された各消防団は、地域に根付いた長い歴史と伝統をぬぐい昭和50年4月から本組合に加わっていただき、これによって消防の一元化が叶うところとなり、以来団員の方々には常備と一体となって地域の防火・防災活動に多大なご活躍をいただいております。

署員の皆さんには、24時間体制1日も閉庁を許すことなく地域住民の生命、身体、財産を守るため全力を尽くしていただきました。その活動は、ひとり管轄地域を問わず平成12年4月には有珠山噴火災害への応援出動、平成23年3月には日本消防にとって最大の経験となった東日本大震災の被災地のひとつ宮城県石巻市に緊急消防援助隊として2度出動し、極めて困難な状況下で粘り強く懸命の活動をしていただきました。

平成23年度には「設立40周年」を迎えることができ、記念誌の発行、1年を通じ各地域で冠称事業を展開し、9月には歴代功労者をはじめとするご来賓、管内住民多数のご参加のもと記念式典を盛大に行ったことを鮮明に覚えております。

訓練改革に基づく実践訓練では、災害発生時にはじめから終わりまで現場に立ち向かう消防としてその対応力を磨くため、昨年7月、3回目となる「消防防災合同訓練」を更別村災害対策本部をはじめ、北海道、自衛隊、警察等との「機関連携型」で実施いたしました。

今後も、広域化後の本地域の消防連携を維持するため、新たに設置する「消防連携連絡会」を通じて、引き続き訓練を積み重ねるとともに、様々な検証により確固たる消防防災体制を確立していくものであります。

振り返れば切りがございません。

管内の町民・村民の皆様、組合功労者の皆様、並びに歴代議長をはじめとする議員皆様におかれては、多くの思い出や苦労が刻まれたこの組合が解散することは万感胸に迫るものと思ひますし、私や各町村長、職員にとりましても「みんな頑張って消防を成長させてきた」との思いにあわせ誠に感無量であります。

さて、十勝は管内の強い結びつきのもと共通の産業基盤や都市機能を集積し、社会経済的に一体性の高い生活経済圏として発展してきた地域であります。

高速道路、高規格道路の延伸により東北海道における十勝の地理的優位性が高まりつつあり、さらなる発展の動きに結びついていくものと期待しております。

しかるに、安心できる暮らしの実現には、地域の共通課題などに対する圏域を挙げた対応が重要であります。特に、東日本大震災後、首都直下地震、東海・東南海・南海地震の切迫性はさらに高まってきていると言われており、消防はより大きく強力な体制のもとで活躍する必要があります。

このような中、広域化は今後、各地域で見込まれるさらなる人口減や高齢化、災害の複雑化、大規模化などへの対応のため避けては通れないものであります。

平成21年4月から本格的に検討を始め、この間、本当に時間をかけてオール十勝熱心な議論を重ねてくることができました。各市町村並びにそれぞれの議員の皆様、関係各位のご努力に心から敬意を表します。

いよいよ4月1日から業務を共同で開始し実施をしていくわけでございます。

統合後は、広域消防の機能を遺憾なく発揮し一体となった消防精神で十勝の安心安全をしっかりとがっちりをつくっていく、構成市町村の一員としてそういう心意気をもって取り組んでいきたいと思っております。

職員の皆さん、新たな決意のもと社会経済の進展に対応する消防体制の強化を図り、これからも住民皆さんの期待に応えられるようしっかりとがんばって下さい。また、皆様におかれましては消防行政の更なる発展のため、今後とも変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

本組合の発展にご尽力され精励された先輩方の想い、そしてこれからの十勝消防に対する多くの皆様の期待を胸に「とから広域消防局」を新たな行政拠点として、組合議会や住民の皆様方とともに、消防の輝かしい未来を築いていかれることを期待いたします。

最後に、この歴史に幕を閉じることになりますが、南十勝4町村の皆様、団員及び職員の皆さんと共に45年間歩んできたこの組織に改めて感謝の意を表し、解散式にあたりましてのご挨拶といたします。

本当にありがとうございました。